

令和4年度 横浜市社会教育コーナー 管理運営報告書

事業対象施設：横浜市社会教育コーナー 横浜市磯子区磯子3-6-1-1

事業期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

管理運営団体：特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク

1 生涯学習・地域活動団体へ安全・安心な場の提供

1) 開館日数： 345 日

休館日（原則毎月第1月曜日&年末年始 全20日）

2) 利用率・利用人数・利用コマ数（別紙：利用状況年間報告書）

3) 登録団体数：365団体（令和5年3月31日現在）

分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数
テニス	114	ダンス	41	合唱	37	市民活動	17	絵画	16
太極拳	15	楽器演奏	14	自治会・ 管理組合	14	読書・朗読	12	体操	9
外国語	9	書道	9	青少年育成	7	多文化共生	7	卓球	6
俳句・短歌	6	健康福祉	5	生け花・フラワ ーアレンジメント	4	手工芸	4	子育て支援	3
ヨガ	2	パソコン	1	囲碁・将棋	1	ゲーム	1	武道	1
歴史文学	1	詩吟	1	演劇	1	その他	7		

利用率、利用者数・団体の変化

- ・年度はじめはコロナ禍もあり各部屋の利用率は高くはなく、テニスコートの利用はあったが研修室をはじめ屋内での活動は自粛している団体が多いようだった。
- ・その後月を追って抽選会へ参加する団体も増え、それまで活動を休止していたトレーニングルームを使用するダンスや太極拳などの団体や活動が活発になってきた。
- ・演奏会などの発表の機会も徐々に再開されはじめ、アートルームを利用する合唱や楽器演奏の団体が継続した活動になってきた。

2 施設の防災・防犯対策

①緊急時の対応

・施設内で火災が起きた時は初期消火、けが人への対応、消防署への連絡、市教委への連絡等を行うなどの対応マニュアルを作成し、研修を行い、スタッフ間で共有した。

②施設内のどこに消火器があるか、避難をする際の避難経路や非常灯の場所を各部屋に掲示している。

③災害対策

・「磯子区洪水ハザードマップ」「土砂災害ハザードマップ」によると、社会教育コーナーの北西 100m に土砂災害警戒区域がある、また「内水ハザードマップ」では 1 時間 153mm の雨で内水氾濫が起った際、2 cm から 20 cm の道路冠水相当となることがわかっている。浸水時や地震の際の避難場所は磯子区役所となる。また、地域防災拠点は森東小であることをスタッフ全員で地図を用いて確認している。

3 生涯学習・社会教育に関する相談・コーディネート・情報提供

全相談件数(61 件)

4 月(5) , 5 月(8), 6 月(6), 7 月(6), 8 月(4), 9 月(4), 10 月(4), 11 月(3), 12 月(5),
1 月(6), 2 月(3), 3 月(7)

・窓口では来訪する市民に対し、これから活動を始めたい人へ団体やサークルの紹介、イベント・講座等の情報提供を行った。

・コロナ禍も収まりつつあり、これから何かやってみようという個人の相談が増えてきている。

・施設内に活動紹介や発表のチラシやポスターを掲示し、登録団体の活動支援および来館者への情報提供を行った。

・生涯学習文化財課主催「社会教育研究会」にファシリテーターとして参加した。また、同課の職員研修のひとつである区の課題に対応する出前研修に参画し、3 区（青葉、中、神奈川区）へ出向いた。研修では職員やスタッフが課題と捉えている内容について、ワークなどを行い職員同士で解決の糸口が見つけられる機会をつくった。

4 社会教育コーナーの評価・検証

① 利用者会議（別紙「令和 4 年度横浜市社会教育コーナー利用者会議報告書」参照）

・現在利用している登録団体の代表者による交流会を実施した。（令和 5 年 2 月 17 日）

今年度から社会教育コーナーの運営団体が変わり、利用団体が利用の際に気づいたこと、改善してほしいことについて意見交換を行い、今後の管理・運営に活かしていくことを目的に実施している。

コロナ禍で普段は接することのない参加団体同士の交流となった。

② 事業アンケート ・主に講座実施の最後に受講者に向けてアンケートを取り集計している。

今後、どのような講座があると良いかなど、事業に活かしていく事を目的に実施。また、講座開催を何で知ったか、住んでいる居住区等もうかがい、今後の広報やニーズ把握の情報源とする。

③ 窓口にご意見箱の設置。その他、利用の点検確認票にも職員への連絡事項の記入欄を設けている。

窓口では相手が話しやすい雰囲気です丁寧な対応を職員全員が心掛け、相手に伝わる工夫をしている。

5 業務に関する研修

① 施設の管理運営に関する研修

- ・ 公共建築物の保全に関する研修（施設管理者を対象とする出前研修）：1名参加
- ・ 防災実習訓練：全員参加
- ・ 救命救急訓練：全員参加

② 個人情報保護に関する研修

実施日：4月

③ 生涯学習、社会教育等に関する研修

- ・ 横浜市教育委員会 市民活動・地域活動 新任者研修（4月27日）
- ・ 公民館館長・職員等研修会（神奈川県公民館連絡協議会）（5月20日）
- ・ 県生涯学習指導者研修「社会教育担当者コース」（県教委）（5月24日、7月13日）
- ・ 県生涯学習指導者研修「公民館等担当者コース」（県教委）（6月24日、10月12日）
- ・ 市民局主催ネットワーク会議（6月29日）
- ・ 地域力推進担当者研修（令和5年3月13日）

出前研修の実施

- ・ 青葉区出前研修（8月25日）
- ・ 中区出前講座（11月16日）
- ・ 神奈川区出前（12月19日）

その他 関わった研修

- ・ 横浜市生涯学習研修3（12月21日）
- ・ 横浜市社会教育研究会（令和5年1月25日）

杉並区社会教育委員会議

- ・ 視察と懇親会（11月24日）

社会教育実習生の受け入れ

- ・ 9月13日、26日、10月4日、17日、25日、31日

◆ 保守管理維持管理報告書

業務	頻度		備考	実施日・結果等
設備建物維持管理 (建築・電気・消防設備)	2回/月	管理者点検	職員による点検	別紙「管理者点検」のとおり
	3回/年	定期点検	業者による点検 消防法上必要書類一式 点検及び館内点検	別紙「設備点検報告書」の とおり
空調設備の清掃	6回/年	定期点検	業者によるフィルタ-掃除・点検	別紙「定期清掃作業報告書」の とおり
第一種特定製品点 検(空調設備)	3回/年	定期点検	室外機、室内機	別紙「簡易点検チェックシート」 のとおり
自動ドア点検	2回/年	定期点検	自動ドア専門メンテナンス	令和4年5月2日:正面外扉部 品はずれ有り→修理へ 令和4年11月7日:異常なし
自動火災報知設備 点検票	2回/年	定期点検	専門メンテナンス	令和4年5月27日、11月7日 異常なし
防火対象物点検	1回/年	点検	消防法上必要書類一式点 検及び館内点検	令和4年5月27日 異常なし
清掃業務	平日	日常清掃	シルバー人材職員による各 部屋とトイレ・回廊等の清掃	
	1回/ 2か月	定期清掃	業者による清掃:床ワックス、 網戸、ガラス、換気扇等中心	令和4年4月4日、6月6日、 9月15日、10月3日、12月5 日、令和5年2月6日 別紙「定期清掃作業報告書」の とおり
	日曜・ 祝日	日常清掃	スタッフによる各部屋と トイレ・回廊等の清掃	
小破修繕	随時			下欄内訳のとおり

小 破 修 繕 内 訳			
対応月	内 容	対応月	内 容
6月6日	自動ドア修理 (フレドメ交換)	11月7日	アートルーム床修理
9月7日	男子トイレ便座交換	2月22日	ブラインドコード交換
9月14日	ブラインドコード交換	3月31日	自転車修理
11月7日	通用口扉補修工事		

◆ 自主事業報告書

事業の目標1 社会参加

主体的な参加のきっかけづくり

①社会教育の場の運営

利用者が主体的に活動にかかわれるよう、毎回の挨拶や声かけなど職員が利用者とのコミュニケーションを積極的に図った。また、施設の適切な管理として利用者の入れ替え時には利用時間の10分前には掃除を終えていただき、コロナ対策としての換気や消毒を行い、次の利用者の入室を促し、スポーツ広場では雨の日の後のコート整備、落ち葉の掃除をし、利用者に気持ちよく使っていただくことを心掛けた。また、スタッフは窓口業務をより確実に正確に行えるよう努力し、利用者に使いやすい施設となるよう窓口や掃除の際に利用者の声を伺い、常に工夫と提案を出し合いながら運営を行っている。

②ホームページの管理

- ・利用者が見やすく、わかりやすいページを意識し、新たに立ち上げた。
- ・施設の空室状況を毎日更新することで、利用者が活動予定を立てやすいようにした。
- ・必要時応じて更新した。

③メールマガジンの発行

- ・毎月1回、希望者にメールマガジンを送付し、施設からのお知らせや実施事業を発信した。

④ブログ・ツイッターの配信【新規】

- ・ホームページ内にブログ「学びのとびら」を置き、社会教育に関わる情報を提供した。
- ・ツイッターでは身近な情報や過ぎに伝えたい事柄を発信し、タイムリーな情報提供を心がけた。

⑤掲示板や館内掲示の充実

- ・掲示板に情報内容の「タイトル」を貼り、カテゴリー分けをすることで、情報を取りやすくした。
- ・古い情報を更新し、見やすい掲示を心がけた。

⑥相談・コーディネート

- ・市民が生涯学習の相談をしやすいよう、明るく丁寧な窓口対応を心がけた。
- ・活動団体につながる際には、個人情報保護に配慮するとともに、スムーズに情報提供が行えるように職員間の共有を確実にを行った。

⑦読書活動による社会参加の場づくりと交流

目的：読書活動に関わる活動団体の活躍の場づくりと市民の読書活動の推進を図る

日程：7月～2月（全8回、7月30日、9月17日、10月8日・29日、11月19日、12月17日、1月21日、2月18日）

対象：主に未就学児とその親

参加人数：延べ 188 人

内容：9 団体をコーディネートして「おはなしの国」を開催した。活動団体にアンケートをとり、実施の希望や内容などを調整し、全 8 回を実施。運営資金や団体への謝金等は助成金（区ふれあい助成金）を活用した

課題：団体同士でネットワークをつくり当日の運営についても協力ができるようになると互いの実践も見ることができ、スキルアップにもつながるのではないか

⑧親子の広場

目的：乳幼児をもつ親同士がともに子育てや社会的課題について学ぶと共につながり、仲間づくりや社会参加の一步を支援する場として開催

日程：全 6 回（5 月 30 日、6 月 27 日、9 月 26 日、11 月 28 日、1 月 30 日、3 月 27 日）

対象：未就学児とその親

参加人数：108 人

内容：季節行事の工作やふれあい遊びを通じて、関わりあう楽しさを体感した

課題：毎回の集客

⑨乳幼児親子の交流の場づくり

目的：乳幼児をもつ親同士がともにつながり、仲間づくりや社会参加の一步を支援する場として開催

日程：全 3（11 月 11 日、12 月 9 日、2 月 17 日）

対象：未就学児とその親

参加人数：56 人

内容：親子がリトミックなどを通じて、一緒に遊びながら楽しく交流した

課題：毎回の集客

⑩若者の社会参加【新規】若者企画体験プロジェクト

- ・社会教育実習生として当施設に関わった大学生が企画し、若者対象の事業実施を計画した。計画案を検討する中で、実施を令和 5 年度の夏以降にすることとした。

事業の目標2 つながりづくり

多様な主体との連携・協働の推進

①学校・地域コーディネーターのネットワークづくり（交流会）

目的：学校・地域コーディネーターの活動現場での課題の共有・情報交換を通し課題解決等を図る

日程：1 月 21 日

対象：学校・地域コーディネーター（磯子区内）

参加人数：12 人

内容：学校で地域のボランティアが放課後実施している取組事例の紹介を行い、学校・地域コーディネーター

ネーターの活動に関して質問や課題、悩みなどを相互に聞きあい解決のヒントとする

成果：学校・地域コーディネーターは学校により実施内容が異なっているため、学校に1人しかおらずこれまで相談の機会がなかった人など、他のコーディネーターとの情報交換や相談ができるようになったことが大きい成果であった。また磯子区学校連携担当者に連絡し、学校への連絡をスムーズになるように連携をとれる体制もつくれた

課題：初回のため磯子区内のコーディネーターを集めることから始めたが、市域に交流会を広げたいけるようにしたい

②図書館と市民活動・生涯学習支援センターの連携支援

目的：図書館との連携強化を図る

日程：1月31日

対象：読み聞かせボランティア（磯子区内の小学校）

参加人数：8人

内容：ボランティア同士の情報交換、図書館および社会教育コーナーからの情報提供

課題：コーナーに大型絵本があることを知られていない。交流会終了後、参加者が当施設に来訪

③紙芝居等を用いた交流会（読書プロジェクト）

目的：読書活動に関わる人や活動をはじめたい人へのスキルアップの機会を通して、読書活動推進のネットワークをひろげ、お互いに学びあう機会の提供を図る

日程：年3回（7月15日、11月18日、2月24日）

対象：絵本が好きな人、おはなしに関心のある人

参加人数 計86人（7月：18人、11月31人、2月：37人）

内容：朗読や紙芝居、郷土のおはなし、絵本の読み聞かせ

課題：周知に苦労しているが、学校ポストにチラシを配架できたことで多くの参加があった

④磯子区NPO連絡会への参画

区内NPOの横つなぎの会。毎月1回の定例会において近況報告や情報交換を行っている

6月にいそご区民活動支援センターとの共催で「地域活動フォーラム」を区役所で実施。体験講座をはじめ交流イベントに取り組んだ。今後も連携を深めていきたい

⑤磯子区館長連携会への参画

各月で区内地域施設の館長が集う情報交換の機会。連携して実施した「いそっぴゴールデンウィーク」では、当施設もスタンプラリーを実施し、当施設では130人が景品を交換した

⑥市内・区内の社会教育関係機関との連携

当法人が青葉区、磯子区、南区、保土ヶ谷区からの依頼を受け、担い手育成や職員研修の事業を実施している関係から、その区の生涯学習担当者との連携を深めた。また、当施設に南区支援センター職員が来訪し、当法人が実施している担い手育成講座や市民への対応等の質問に応じた

事業の目標3 人材育成

地域の学びと活動を活性化させる人材の育成

①社会教育・生涯学習関係職員への対応・サポート

・来館や電話、研修現場などにおいて、担い手育成の講座の内容への相談やイベント情報の告知 PR の依頼を受ける。告知 PR の依頼に関しては館内の掲示板に貼るほか、当法人が関わる場で紹介した

②よこはま社会教育士ネットワーク【新規】

目的：市内の社会教育士および社会教育士をめざす人たちの情報交換と交流を図る

日程：毎月1回開催（全9回開催）

対象：社会教育士および社会教育士をめざす人

参加人数 延べ60人

内容：地域の事例や生涯学習の取組の紹介、アイスブレイクの持ち寄り体験など

課題：開催案内の周知・広報、今後社会教育士関連講座の受講者の参加へつなげていく

④ 社会教育士を目指す人の育成（全4回講座）

目的：社会教育士を目指す人のための基礎講座を開催し、社会教育士の称号取得のための情報取得や士に求められる力量について知る機会とした

日程：全4回（2月14日、21日、28日、3月7日）

対象：社会教育士または社会教育士をめざす人

参加人数：延べ81人

内容：プログラムの企画立案を通して、社会課題の捉え方、ファシリテーションスキル、合意形成について等、グループワークを中心に実践的に学んだ

成果：講座の参加者が「よこはま社会教育士ネットワーク交流会」に参加し、今後の称号取得に向けた情報収集をはじめた

新たな地域課題への取組

①困難を抱えた子どもたちへの学習支援

目的：さまざまな理由で学習に困難を感じている小中学生の学習面をサポートすることで、より生き生きとした生活が送れるよう支援する

日程：毎週木曜日

対象：学習に困難を抱える小中学生

参加人数 年間 249名

内容：学習や社会生活などで不安を抱える子どもたちの学びの場

課題：子どもだけで通ってくるため、保護者が一堂に会する機会がなく会としての情報共有が難しい

②発達が気がかりな子どもをもつ保護者のピアカウンセリング【新規】

目的：発達が気がかりな子どもをもつ保護者同士のピアカウンセリングの実施し、保護者の仲間づくりの場を提供する

日程：毎月1回（全11回）

対象：発達が気がかりな子どもをもつ保護者

参加人数 延べ 59人

内容：個別級・通級・放課後ディサービス等、他では得られにくい情報について先輩ママから聞くことで、少し先の将来について見通しが立ち、安心することができる場となった

課題：周知と同時に、安心して自分の悩みを話し、共感しあえる場の確保

③多文化共生社会への意識づくり【新規】

目的：国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化や考え方の違いを認め合い、地域社会の構成員として共に生きていくための学びの機会を提供することで多文化共生の意識の醸成を図る

日程：講座9月～10月（全3回）

対象：多文化共生に関心をもつ市民

参加人数 延べ65人

内容：各回「多文化共生を考える」「外国にルーツをもつ子どもたちの現状」「共に学び、共につくる社会へ」をタイトルに、実践者の話しを聞き、現状を知ること、子どもたちの多様性をいかにするために、地域の大人は何をしたらよいかを考えた

成果：外国につながる子どもたちの現状を知ること、地域としてできることがある。参加者ひとりひとりが、多文化共生社会をめざして「私が明日からやろうと思うこと」を宣言した。多くの人に現状を知ってもらうことが重要であることを再認識した

広報・周知

- ・広報横浜いそご区版および磯子区民活動支援センターの情報誌「いそつな」に各種開催の事業情報を掲載した。また、教育委員会生涯学習支援課を経由し市内関係各所にチラシ配架を依頼。
- ・地域情報紙「タウンニュース」講座情報や名刺広告を掲載するほか、磯子区役所や図書館、地域子育て施設等にチラシを配架。「まちの掲示板」に事業チラシを貼るなど地道に行った。
- ・当施設のリーフレットの発行時期が遅くなったため、次年度に大いに活用し、PRしていきたい。

その他の取組み

①利用者会議

目的：登録団体による利用者会議を実施し、意見交換の内容を管理運営に生かすことで、市民による市民のための施設を目指す

日程：2月17日

対象：登録団体の代表

参加人数 団体代表 6人、当施設3名

内容：当施設からは事業内容や運営について伝え、利用者からは日頃の施設利用に対する意見交換を行い、より利用しやすい施設になるよう話し合った。すぐに動けることはスピーディに改善に向かった。各所に要望が出たが、予算や優先順位などのため、要望に沿えない点もある

②市民活動・生涯学習支援センターとの関係づくり

出前講座や社会教育研究会などを通して各区の市民活動・生涯学習支援センター職員と顔の見える関係ができた。引き続き、コミュニケーションを深めることで、当施設へのニーズを把握し、双方の事業・施設運営に生かしていく

③事業アンケート

事業開催時に毎回アンケートを実施した。感想のほか、参加者理由や情報元などを聞くことで、次の事業の参考とした

職員研修

- ・毎月の休館日を職員研修に宛て、そこで生涯学習・社会教育について、個人情報保護について、ADE研修など、毎回テーマを決めて研修を実施し、利用者のニーズに応えられるよう取り組んだ。
- ・横浜市や神奈川県からの案内のあった研修のほか、外部の研修も積極的に受講し、専門的な知識やスキルアップの機会とした。

◆資料

1. 令和4年度 自主事業一覧
2. 令和4年度 収支予算書及び報告書
3. 令和4年度 利用料金 収入一覧
4. 令和4年度 利用状況 年間報告書
5. 令和4年度 利用者会議 報告書
6. 保守管理維持管理報告書の別添資料

令和4年度 生涯学習事業(自主事業)一覧

事業分類	事業名	回数	時期	受講料(円)	対象	募集人数(人)	参加者数(人)
社会参加 主体的な参加のきっかけづくり	読書活動による社会参加 場づくりと交流	8	7月～令和5年2月	0	大人から 子どもまで	随意	188
	親子の広場	6	5月～令和5年3月	150	未就学児と親	10組	108
	乳幼児親子の交流の場づくり	3	11月11日、12月9日、 令和5年2月17日	200	0才～6才 親子	10組	56
つながりづくり 多様な主体との連携・協働の推進	学校・地域コーディネーターの ネットワークづくり	1	令和5年1月21日	0	コーディネー ター	随意	12
	図書館と市民活動・生涯学習支援 センターの連携支援	1	令和5年1月31日	0	読み聞かせボラ ンティア	15	8
	紙芝居を用いた交流会	3	7月15日、11月18日、 令和5年2月24日	300円(11月のみ 500円)	絵本が好きな 方・興味がある 方	25名(11月は 40名)	86
人材育成 地域の学びと活動を活性化させる 人材の育成	よこはま社会教育士ネットワーク 【新規】	9	5月～令和5年3月	500	社会教育士およ び関心のある人	15	60
	社会教育士を目指す人の育成 【新規】	4	令和5年2月14日、21日、 28日、3月7日	2,000	社会教育士に関 心のある人	20	81
新たな地域課題への取組み	困難を抱えた子どもたちへの 学習支援	47	4月～令和5年3月	0	小・中学生	10	249
	発達thatがかりな子どもをもつ 保護者のピアカウンセリング 【新規】	11	4月～令和5年3月	100	発達thatがかり な子どもを持つ 保護者	10	59
	多文化共生社会への意識づくり 【新規】	3	9月26日、10月17日、 10月31日	1,000	多文化共生に関 心をもつ 市民	30	65
						参加者総計 (人)	972

令和4年度 「横浜市社会教育コーナー」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	12,942,000		12,942,000	12,942,000	0	横浜市より
横浜市による運営支援		377,000	377,000	377,000	0	
利用料金収入	3,500,000		3,500,000	3,757,430	△ 257,430	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入			0	0	0	
自主事業収入	85,000		85,000	32,000	53,000	
雑入	252,000	0	252,000	246,543	5,457	
印刷代・ロッカー	200,000		200,000	133,494	66,506	
自動販売機手数料	50,000		50,000	20,279	29,721	
自動販売機電気料・目的外使用料	0		0	92,070	△ 92,070	
シャワー	2,000		2,000	700	1,300	
受取利息	0		0	25	△ 25	
収入合計	16,779,000	377,000	17,156,000	17,354,998	△ 198,998	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,774,000	0	10,774,000	11,118,551	△ 344,551	
給与・賞金	9,624,000		9,624,000	10,164,751	△ 540,751	日勤・夜勤スタッフ
社会保険料	770,000		770,000	617,280	152,720	
通勤手当	380,000		380,000	336,520	43,480	
健康診断費	0		0	0	0	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
事務費	1,524,000	0	1,524,000	2,234,650	△ 710,650	
旅費	100,000		100,000	1,552	98,448	
消耗品費	224,000		224,000	694,771	△ 470,771	
会議滞在費	0		0	0	0	
印刷製本費	200,000		200,000	259,162	△ 59,162	利用許可証49,500含
通信費	240,000		240,000	354,472	△ 114,472	
使用料及び賃借料	50,000	0	50,000	40,920	9,080	
横浜市への支払分	50,000		50,000	40,920	9,080	自販機目的外使用
その他			0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	265,915	△ 215,915	
図書購入費	35,000		35,000	20,055	14,945	
施設賠償責任保険	30,000		30,000	29,920	80	
サイバーリスク保険	40,000		40,000	40,300	△ 300	
職員等研修費	50,000		50,000	0	50,000	
振込手数料	20,000		20,000	41,635	△ 21,635	
リース料	235,000		235,000	243,948	△ 8,948	
ホームページ運営費	250,000		250,000	242,000	8,000	HP制作費含む
地域協力費			0	0	0	
事業費	183,000	0	183,000	3,680	179,320	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費			0	0	0	
自主事業費	183,000		183,000	3,680	179,320	
管理費	3,044,000	0	3,044,000	3,673,672	△ 629,672	
光熱水費	1,485,000	0	1,485,000	1,822,465	△ 337,465	
電気料金	1,300,000		1,300,000	1,649,923	△ 349,923	
ガス料金	10,000		10,000	0	10,000	
水道料金	175,000		175,000	172,542	2,458	
清掃費	902,000		902,000	1,277,815	△ 375,815	
修繕費	300,000		300,000	232,892	67,108	
機械警備費	160,000		160,000	145,200	14,800	
設備保全費	172,000	0	172,000	170,500	1,500	消防設備点検（総合・機器）、防火対象物点検
空調衛生設備保守			0	0	0	
消防設備保守	82,000		82,000	81,400	600	
電気設備保守	40,000		40,000	39,600	400	自動ドア
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	50,000		50,000	49,500	500	建物設備点検（年3回）
共益費	25,000		25,000	24,800	200	
公租公課	819,000	0	819,000	80,500	738,500	
事業所税			0	0	0	
消費税	819,000		819,000	0	819,000	
印紙税			0	1,000	△ 1,000	
その他（法人税）			0	79,500	△ 79,500	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	92,850	△ 92,850	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	92,850	△ 92,850	
二一三対応費	435,000		435,000	226,160	208,840	インターネット環境整備・工事、ピアノ調律
支出合計	16,779,000	0	16,779,000	17,430,063	△ 651,063	
差引	0	377,000	377,000	△ 75,065	452,065	

自主事業費収入				32,000		
自主事業費支出				3,680		
自主事業収支				28,320		
管理許可・目的外使用許可収入				112,349		
管理許可・目的外使用許可支出				40,920		
管理許可・目的外使用許可収支				71,429		

令和4年度 横浜社会教育センター 収支予算書及び報告書

Table with columns for '収入の部' (Income) and '支出の部' (Expenditure), including sub-sections like '人件費' (Personnel), '事務費' (Administrative), and '公費公債' (Public Expenses/Debt). Rows list various items such as '指定管理料', '給与・賃金', '電気料', and '雑費' with monthly and quarterly data.

2021年度受領した次年度分

単位:円

一般利用	月	研修室A/B	研修室C	アートルーム	トレーニングルーム	スポーツ広場	付帯設備	返金	計	コピー	印刷	ロッカー	シャワー	累計	
									0						0
									0						0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	414,900	

2022年度利用料金収入

単位:円

一般利用	月	研修室A/B	研修室C	アートルーム	トレーニングルーム	スポーツ広場	付帯設備	返金	計	コピー	印刷	ロッカー	シャワー	累計
	4月	48,000	51,000	64,000	78,400	49,550	26,300	7,550	309,700	6,831	1,227	42,200	0	359,958
	5月	54,000	43,000	54,400	80,800	67,800	16,300	5,900	310,400	4,775	3,410	4,000	200	322,785
	6月	60,600	26,000	67,200	64,800	59,100	17,800	550	294,950	3,870	260	0	0	299,080
	7月	37,800	41,000	67,200	75,200	67,400	16,200	3,800	301,000	2,140	1,290	0	100	304,530
	8月	45,000	35,000	57,600	72,800	61,800	13,400	2,300	283,300	6,630	398	0	200	290,528
	9月	75,400	39,000	54,400	98,400	60,000	18,500	4,350	341,350	7,385	262	0	0	348,997
	10月	52,800	37,000	59,200	80,000	57,400	16,330	6,300	296,430	6,970	1,466	0	0	304,866
	11月	56,400	35,000	60,800	70,400	55,000	16,500	8,400	285,700	9,715	1,262	0	100	296,777
	12月	56,400	36,000	57,600	66,400	47,200	16,300	10,000	269,900	6,700	1,620	0	0	278,220
	1月	60,600	32,000	60,800	76,000	59,000	16,400	2,500	302,300	6,700	1,385	0	0	310,385
	2月	13,800	14,000	20,800	16,800	49,800	8,100	1,100	122,200	4,325	798	0	100	127,423
	3月	17,400	10,000	0	11,200	36,300	3,100	3,900	74,100	7,875	0	0	0	81,975
計	578,200	399,000	624,000	791,200	670,350	185,230	56,650	3,191,330	73,916	13,378	46,200	700	3,325,524	

令和4年度横浜市社会教育コーナー利用状況年間報告書

部屋別及び時間帯別

		研修室 A	研修室 B	研修室 C	アート ルーム	トレーニン グルーム	交流ス ペース	スポー ツ広場	合計	午前	午後	夜間	合計
利用人数 (単位:人)	本年	7,425	6,393	3,239	8,815	10,746	4,136	2,506	43,260	19,411	17,764	6,085	43,260
	前年	4,083	3,291	2,771	7,298	8,610	0	2,087	28,140	12,892	10,827	4,421	28,140
利用コマ数	本年	627	499	434	539	1,118	502	796	4,515	2,121	1,848	546	4,515
	前年	356	268	380	478	927	0	620	3,029	1,438	1,222	369	3,029
総コマ数(R4年度)		971	971	971	971	1,942	971	1,190	7,987	3,005	3,015	1,967	7,987
利用率	本年	64.6%	51.4%	44.7%	55.5%	57.6%	51.7%	66.9%	56.5%	70.6%	61.3%	27.8%	56.5%
	前年	45.2%	35.5%	49.4%	57.0%	55.1%		57.6%	51.3%	59.3%	51.6%	33.1%	51.3%
利用率前年対比		176.1%	186.2%	114.2%	112.8%	120.6%		128.4%	149.1%	147.5%	151.2%	148.0%	149.1%

月別合計数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数 (単位:人)	本年	3,331	3,309	3,843	3,560	2,534	3,515	3,851	4,114	3,325	3,936	3,887	4,055	43,260
	前年	2,424	2,343	2,445	2,622	1,410	1,417	3,221	3,017	2,475	2,246	1,853	2,667	28,140
利用コマ数 (※1)	本年	330 (266)	346 (258)	402 (283)	384 (261)	324 (197)	407 (295)	391 (289)	403 (292)	358 (253)	363 (262)	382 (270)	425 (291)	4,515 (3,217)
	前年	281 (218)	269 (204)	265 (221)	279 (225)	159 (132)	160 (135)	296 (245)	284 (224)	257 (205)	252 (201)	226 (173)	301 (226)	3,029 (2,409)
総コマ数(R4年度)		674 (492)	691 (504)	686 (498)	683 (504)	702 (510)	662 (486)	685 (504)	665 (486)	614 (444)	604 (438)	628 (450)	693 (510)	7,987 (5,826)

※1:()内数字は研修室A～C・アートルーム・トレーニングルーム5部屋分のコマ数

利用率 (※2)	本年	54.1%	51.2%	56.8%	51.8%	38.6%	60.7%	57.3%	60.1%	57.0%	59.8%	60.0%	57.1%	55.2%
	前年	47.9%	51.0%	55.9%	54.9%	75.9%	65.2%	51.7%	46.1%	46.2%	45.3%	38.4%	45.9%	49.9%
利用率前年対比		122.0%	126.5%	128.1%	116.0%	149.2%	218.5%	118.0%	130.4%	123.4%	130.3%	156.1%	128.8%	133.5%

※2:利用率は研修室A～C・アートルーム・トレーニングルーム5部屋分となります。上記「月別合計数」表内の()内数字で計算

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 横浜市社会教育コーナー利用者会議 報告書

2023年2月17日（金）10:00～11:30 研修室C

◎出席者

- ・利用者 6名
- ・社会教育コーナーより3名（坂本、時任、吉見）

◎配布資料

- ・次第、名簿、事業計画書、施設保全・管理状況表

◎利用者の自己紹介

- ・プリモカント（佐藤）：合唱、メンバーは保土ヶ谷区から、トレーニングルームで鏡を利用、アートルーム
- ・向坂クラブ（金子）：スポーツ広場を利用、駅に近い、安価
- ・ゆずの会（新目）：着付け、区主催の講座から発足10名、鏡利用、
- ・ゆっくり英会話（鈴木）：コーナーシニア英会話自主運営60代12名で月2回運営 主に研修室C
- ・横浜いそご友極会（佐藤）：健康太極拳30年、毎週9時からだとトレーニングルーム取りやすい
- ・磯子ダンスカンパニー（菅原）：長年利用 アートルーム、トレーニングルーム

◎参加者からの意見など

- ・予約など前団体から丁寧に踏襲してもらったので、安心している
希望日もとれてうれしい。コロナのための年末の掃除は休止中ですが、そろそろ復活してはどうか？
- ・以前と比べて事務所の雰囲気明るくなった
- ・和やかに元気よくやってくれている
- ・元気な声、はつらつさとしていてよい！
- ・コピー時、話しかけやすくなり、事務室に入りやすくなった
- ・好印象、電話の対応がテキパキとよい感じで対応してくれている
- ・スポーツ広場は希望する時間がとりやすい
- ・抽選会時、元気があってよい、支払いまでの導線もスムーズでよい

◎事業計画について

◎管理状況について

- ・ピアノ調律3回は多い、2回または1回でよいのでは？（1回は修理のためで例年は2回）
- ・調律が狂っていたらお声かけしてもらおうという仕組みでもいいかもしれない

◎意見交換

○申し込みについて

- ・抽選会
今のままのやり方がよい
以前は先着順だった
抽選会の困り感はなし（毎回コンスタントにとれている）

- ・申請書について
馴染んでいるので、今のままがよい
団体番号を忘れがち→スタッフに聞いてください

○キャンセルの取り扱いについて

- ・キャンセル1週間で2週間前まではどうか？
- ・利用日の1か月前までの方がわかりやすいのではないかな？
- ・予約表は見れますか？→HPで見られるようになっている
- ・キャンセルを緩くすると、キャンセルしてしまう団体が増える危険もある
- ・別のスポーツ施設では翌月分、当月の1日から個人で抽選するところがあるが、団体メンバーが個人でそれぞれ抽選するので予約がとれない。コーナーはどうか
→1団体予約は5回までとしている。コーナーは個人での登録はない。団体として抽選、予約している。

○テニスコートへの希望

- ・コートに数か所亀裂がありケガの心配がある（ボールのイレギュラー、転倒）
- ・磯子区役所側のフェンス（西側）低く、通行人や自動車に当たるか不安 1メートルほど上げてほしい
- ・西側コンクリフェンスからコートの距離が狭い 1メートル東側にコートを移動してほしい
- ・コートのグリーンのパンキをゴム系の柔らかい塗料に変えてほしい
- ・ネットの出し入れをなしにしたほうがよい（ネットも傷まない、他所は24時間張りっぱなし）
- ・金沢六浦のテニスコート利用は無料なので、利用料金を無料にしてほしい
→なぜ金沢区六浦の施設は無料なのか？ 同じ横浜市でも担当局によりシステムが異なる

○その他

- ・トレーニングルームの連続利用の申込可能を1週間前から1か月前から予約できるようにしてほしい
- ・キャンセルしたら、部屋を空けてほしい（権利も放棄してほしい）
- ・年末の大掃除について
 - ・団体2名参加
 - ・参加団体にはおまけの抽選会をする
 - ・交流、親睦もできる（その後、交流があった）
- ・他施設ではテニスの時間が終わる5分前にアナウンスコールが入る、よいシステムなのでコーナーでもできないかな？
- ・女子トイレの和式、たちあがる際につかまる手すり、荷物をかけるフックがあると安心
- ・トレーニングの掃除についての確認 モップ → 掃除機で吸う
- ・退出は15分前か→10分前には掃除を終えて退出していただくよう案内している
- ・ホワイトボード書き残しのチェックしてほしい

以上